

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2024年 7月 29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都府京都市南区久世殿城町338番地	ニデック株式会社 代表取締役社長執行役員 岸田 光哉 電話番号：075-922-1111

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015 = JIS Q14001:2015
適用範囲	ニデック株式会社 本社・中央開発技術研究所
導入年月日	2004年 6月 25日
認証番号	登録番号)EC20J0023
基本方針	弊社の行う事業活動が、環境に対し、その影響が最も小さくなるよう行動します。 (1)環境負荷の低減や地球温暖化防止のために「環境に配慮した製品開発」、「エネルギー使用効率の向上」、「廃棄物の削減・リサイクル」に視点をおき活動する。 (2)事業活動、製品の環境側面を認識し、環境パフォーマンスの維持・改善を図る環境汚染予防活動を適切に活動させ、継続的改善を推進する。 (3)関連する環境法規制およびNidecが同意するその他の要求事項は、これを順守する。 (4)環境目的及び目標を設定するとともに、マネジメントシステムの適切性を定期的に見直す。 (5)要求事項をマニュアル、規定、手順書等に文書化し、それに基づく実施、文書の維持管理を行う。また、環境方針を全社員及び構成員に周知徹底するとともに関連する要員に対し、適切な教育・訓練を行い、実施を確実にする。 (6)この環境方針は、外部からの要求に応じて開示する。 ※弊社の環境方針より一部を抜粋
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	■CO2の排出量抑制 【2023年度目標】「CO2排出量」を年間3,796t-CO2以下にする 【2023年度実績】年間3,218t-CO2（目標達成）
目標を達成するための取組の内容	■CO2の排出量抑制に向けた取り組み ・廃棄物の品目毎の排出量のモニタリング、廃棄物分別ルールの見直し、注意喚起文の配付(昨年度より引き続き随時実施) ・クリーンルームの活動範囲縮小
目標を達成するための取組の進捗状況	■CO2の排出量抑制に向けた取り組み ・廃棄物の品目毎の排出量のモニタリング、廃棄物分別ルールの見直し、注意喚起文の配付(昨年度より引き続き随時実施) ・クリーンルームの活動範囲縮小
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	概ね計画通りに遂行しているが、廃プラスチック排出量が増加した。本社棟へのグループ会社の集約等のための、入居準備によるものであるが、引き続き分別の徹底と廃棄物品目ごとの細分化を行い、増量原因分析により総量抑制に努めていきたい。
事業活動に係る法令の遵守の状況	【環境関連法規制調査】(1回/月)： 各部門で関連する最新の法規制情報を確認し、対応要否について法務部等に確認を行い、必要な対応を行っている。 【法規制遵守定期評価】(1回/年)： 環境関連法規制調査に基づき、法務部により各部門の法令遵守状況の評価を行っている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	【マネジメントレビュー】(1回/年) EMSの評価及び見直しの必要性について検討する為、経営層に対しEMS運用状況についての報告を行っている。 2023年度EMS運用実績のマネジメントレビューで経営層より以下コメント ニデックグループは2025年までに再生可能エネルギーの導入を40%にするという目標を掲げている。この目標を達成するためには、エネルギー消費を抑制することと、再生可能エネルギーの導入量を増やすことの両方が重要となる。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。